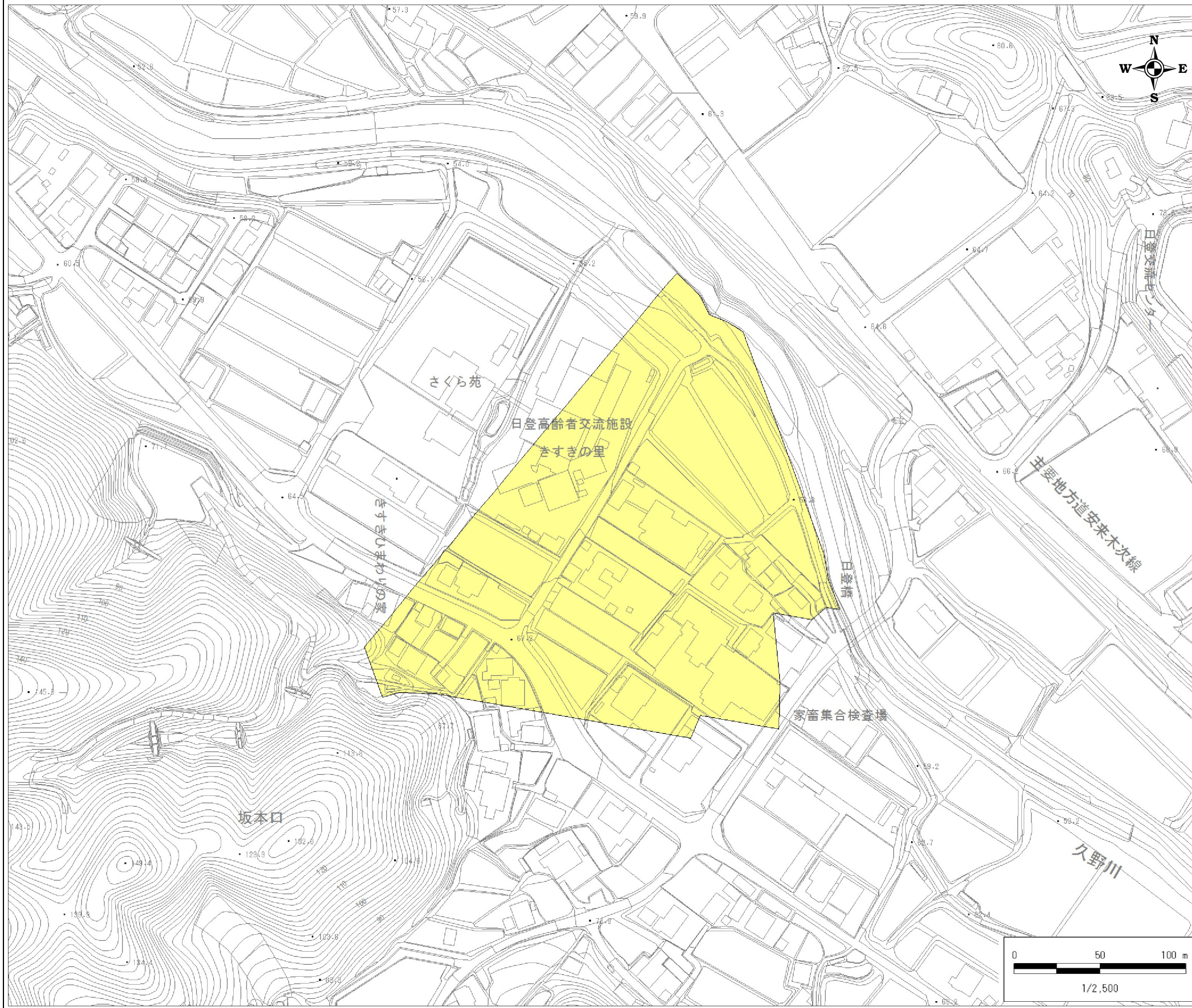


土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺:1/2,500



|         |                  |
|---------|------------------|
| 自然現象の種類 | 土石流              |
| 基礎調査番号  | 132363A660412051 |
| 箇所名     | 東日登叶谷            |
| 所在地     | 雲南市木次町東日登        |

位置図※ 縮尺:1/50,000



※この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

|  |  |
|--|--|
|  | 土砂災害警戒区域                                   |
|  | 土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号)                     |
|  | 土石流の高さが1mを超える区域                            |
|  | 建築物に作用すると予想される力が50kN/m <sup>2</sup> を超える区域 |
|  | 建築物に作用すると予想される力が50kN/m <sup>2</sup> 以下の区域  |
|  | それ以外の区域                                    |

道路区域は除く

土石等の力の大きさの表示

| 区分番号 | (A) | (B) | 区分番号 | (A) | (B) |
|------|-----|-----|------|-----|-----|
|      |     |     |      |     |     |

力の区分表記の説明  
 (A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m<sup>2</sup>)  
 (B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

告示履歴

|       |  |
|-------|--|
| 告示年月日 |  |
| 告示番号  |  |
| 告示年月日 |  |
| 告示番号  |  |

※「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値(計算値)を小数第二位で四捨五入したものです。そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。  
 例1) 土石流の高さの計算値が1.01mの場合、四捨五入により1.0mと表示されますが、実際は1mを超えているため、「土石流の高さが1mを超える区域」に該当します。  
 例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の計算値が50.01kN/m<sup>2</sup>の場合、四捨五入により50.0と表示されますが、実際は50kN/m<sup>2</sup>を超えているため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m<sup>2</sup>を超える区域」に該当します。